

「One Minute Video」制作の事例 -東海大学編-

文化社会学部 五嶋 正治

<p>授業の目的</p>	<p>映像制作の基礎演習、映像表現実習、異文化理解、協調性実習</p> <p>* 映像制作の基礎を1分間の映像制作の過程を通じ実践的に学びます。</p> <p>* 映像表現を学び、メッセージ性の高いコンテンツ制作力を身につけます。</p> <p>* 映像作品を企画、撮影、編集、完成し、発信することにより社会的な評価を経験します。</p>
<p>授業対象と回数</p>	<p>希望選択科目、大学1～4年生、15～20名（ゼミ単位の少人数編成クラス）</p> <p>春・秋 Semester 2 コマ連続 × 12 回授業</p>
<p>授業の流れ</p>	<p>プリ・プロダクション</p> <p>1) 企画・構成: 映像作品の企画、構成、絵コンテ作成</p> <p>2) 撮影台本作成: 撮影の詳細を構成する</p> <hr/> <p>プロダクション</p> <p>1) 撮影許可申請: 撮影素材における著作権、肖像権に伴う手続き</p> <p>2) 撮影: 撮影における役割を決める</p> <p>3) ラッシュ試写: 撮影素材のスタッフ試写</p> <hr/> <p>ポスト・プロダクション</p> <p>1) 映像編集: プレミア・プロでの映像編集</p> <p>2) 音編集: SE、BGM</p> <p>3) 仕上げ: 文字情報編集</p> <hr/> <p>完成上映、・出品</p> <p>1) 完成上映</p> <p>2) 完成作品のソフトパッケージ作成、資料の作成</p> <p>3) 学外コンテストへの参加申し込み</p>
<p>使用機器</p>	<p>&lt;映像撮影カメラ&gt;</p> <p>小型映像カメラ（SONY 社製映像デジタル・ハンディーカムカメラ）</p> <p>中型映像カメラ（SONY 社製映像デジタル・NX カムカメラ）</p> <p>学生所有のスマートフォン</p> <hr/> <p>&lt;編集ソフト&gt;</p> <p>Adobe 社 Premiere-Pro</p>
<p>特徴</p>	<p>「映像制作から学ぶ人間力」</p> <p>1分間の映像作品を企画・制作を行い、言語、文化背景など異なった国々の人達にメッセージを発信する作品を制作する授業。1分間という時間軸は初めて映像に興味を持った学生達にとっての基礎学習としては、丁度良い目標と言える。最初から「15分のドキュメンタリー番組を作ろう!」と呼びかけても、躊躇してしまうのが実情である。しかし、1分間であれば、「自分にも作る事が出来る? 1分間位な</p>

	<p>ら・・・」と感じられる。</p> <p>そして、この授業実践は、国際的な視野、協働制作作業、作品を完成させる達成感など授業過程において複合的な学びの要素が存在している。</p>
<p>学習目標</p>	<p>① 映像作品がより多くの人々に理解されるメッセージとする。</p> <p>② 制作過程においてスケジュール管理する。</p> <p>③ 企画意図を的確に伝えることが出来る。</p> <p>④ 作品が表現するメッセージを紡ぎこみ、受け手へ発信することが出来る。</p> <p>※授業で制作した作品を学外の映像祭等へ出品することを目標とします。</p>
<p>授業写真①</p> <p>キャンパス内の林の中で、空き箱と落ち葉と活用し、ハンディーカメラで撮影をしている様子。</p>	
<p>授業写真②</p> <p>研究室の長いすの上で、手書きの画面をハンディーカメラで撮影している様子。</p>	